

第 4 回(2013 年度)助成研究成果表彰 表彰式・受賞記念講演会

助成研究成果表彰は、優れた成果をあげた助成研究者に与えられるもので、本年度も14名の応募があり、技術委員会による厳正な審査により各賞の候補者を選考し、6月4日の理事会で3名の方の受賞が決定いたしました。

9月6日に鉄鋼会館において表彰式ならびに受賞記念講演会が行われました。当日は青木理事長の挨拶、坂本技術委員長らの講評の後、理事長よりステンレス製の表彰状と副賞が受賞者に授与され、引き続き受賞者による受賞記念講演が行われました。

【各賞の受賞者】

1. 理事長賞

賞の性格	環境技術及び学術の進歩を通して鉄鋼業や社会に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者に贈られる。		
氏名	宗林 由樹	所属	京都大学 化学研究所 教授
助成研究期間	2年：2008年11月～2010年10月		
研究テーマ	重金属を指標とする海洋環境の三次元断層解析		
研究成果	氏は海水中の微量金属を一括濃縮し定量する分析法を開発された。この分析法により、従来分析が困難なため定量化されていなかった海洋における重金属の化学量論が初めて明らかにされた。本分析法は、世界的な標準法として期待される。		

2. 技術委員長賞

賞の性格	環境技術及び学術の進歩に、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた若手助成研究者に贈られる。		
氏名	稲積 真哉	所属	明石工業高等専門学校 都市システム工学科 講師
助成研究期間	2年間：2009年11月～2011年10月		
研究テーマ	廃棄物処分場における鋼管矢板式遮水・浄化促進型埋立護岸の構築に関する研究		
研究成果	廃棄物処分場における鋼管矢板式遮水壁に集排水浄化機能を設けることにより、有害物質の浸出防止および処分場内の有害物質の浄化を促進する機能を有する鋼管矢板式遮水壁を開発された。		

3. 鉄鋼技術賞

賞の性格	鉄鋼環境技術の進歩を通して鉄鋼業に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者に贈られる。		
氏名	奥田 知明	所属	慶應義塾大学 理工学部 応用化学科・専任講師
助成研究期間	1年間：2009年11月～2010年10月		
研究テーマ	次世代型蛍光X線分析装置を用いた浮遊粒子状物質中ニッケル及び有害微量元素高感度迅速定量法の開発		
研究成果	氏は、従来困難とされてきたエネルギー分散型蛍光X線分析装置を用いた粒子状物質中の多元素高感度迅速定量システムを構築された。この分析法は煩雑な前処理が不要で10分程度の短時間で分析が可能であり、既に幅広く応用・展開されている。		

【 表彰式ならびに記念講演会の状況 】



授賞式記念撮影

坂本技術委員長・奥田知明講師・宗林由樹教授・稲積真哉講師・青木理事長



理事長賞 宗林 由樹 京都大学 教授



技術委員長賞 稲積 真哉 明石高専 講師



鉄鋼技術賞 奥田 知明 慶應義塾大学 講師



記念講演会 聴講風景